



桃五だより



No.605

(11月号)

2021.11.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

桃五小の顔

主幹教諭 飯守 真一

10月9日(土)に桃五スポーツフェスティバル2021が行われました。各学年、練習の成果を存分に発揮し、一生懸命に表現運動や短距離走、リレーに励みました。当日は、多くの保護者の方に参観いただき、本当にありがとうございました。コロナ禍ではありますが、笑顔いっぱい踊ったり、真剣に最後まで走り切ったりする子供たちの姿を見ていただくことができ、嬉しく思います。

11月26日(金)、27日(土)には音楽会が行われます。歌や演奏を通して、子供たちの頑張りや成長をどうぞご覧ください。

さて、私自身が6年担任となった時に、子供たちに伝えていることがあります。それは、「**6年生は学校の顔である**」ということです。この言葉には、最高学年として、桃五小のリーダーとして学校を引っ張ってほしい、お手本となってほしいという願いがあります。

そこで、今回は5年担任、生活指導主任という立場から見た今年度の桃五小の顔、6年生の素晴らしさをお伝えしたいと思います。

<素晴らしいあいさつ>

6年生とすれ違ふと必ずと言っていいほど「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など自らすすんで元気のよいあいさつをしてくれます。

11月の生活指導目標

すすんで仕事に取り組もう

力を合わせた桃五スポーツフェスティバルが終わり、子供たちは次の大きな行事である音楽会に向けて頑張っています。疲れの出る時期ではありますが、自分の担当する係や当番にすすんで取り組み、責任をもってやり遂げていきましょう。改めて一人一人の生活面の当たり前を当たり前にしていきましょう。

こうした姿に「さすが6年生!」と思うとともに、とても嬉しい気持ちにさせてくれます。ぜひ、お手本とし、全校に広めていきたい姿です。

<素晴らしい行動>

スポーツフェスティバルのリハーサルで、5年生は6年生の入場や演技、リレーを見学しました。そこで見た入場や開会式でのきびきびとメリハリのある動き、次の行動への素早さ、全力で楽しもう、やり切ろうとする姿…5年生の子供たちは「6年生のような態度で本番を頑張りたい」という思いを強くしました。

<素晴らしい団結力>

スポーツフェスティバル本番直前の6年生は、体育館で最終確認をしていました。そこで、クラスや学年の団結を高めるためにダンスを踊っていました。その時の子供たちの笑顔、明るく元気な声、お互いを認め、称え合う拍手、力いっぱい踊る姿などで体育館全体が言葉では言い表せないほどの素晴らしい雰囲気にもまれていました。6年生全体のとてつもなく強い団結力を感じました。

桃五小は今、こんなに素晴らしい6年生が「桃五小の顔」として全校児童のお手本となり、よりよい学校にするために活躍しています。

この素晴らしい姿や行動を1~5年生が引き継ぎ、さらに素晴らしい桃五小につなげていくよう頑張っていきたいと思います。